

## 第 196 回通常国会・政府演説に対する代表質問

平成 30 年 1 月 26 日

民進党・新緑風会 藤田幸久

### 【「積極的平和主義」という軍備拡大】

1. 「積極的平和主義」の柱は軍事的手段による平和であり、戦争手段の優越さの競争に他ならないと考えるが、見解は如何。(総理)
2. 核を含めた軍事的抑止力という理念を柱にすることが人類全体にとって危険ではないかと考えるが、見解は如何。(総理)
3. 尖閣諸島について、米軍が日本側に立って中国軍に対して対峙することはあり得るか。(総理)
4. 岸内閣による 1957 年閣議決定「国防の基本方針」に関する見解。(総理)
5. これにかえてなぜ「国家安全保障戦略」を 2013 年に閣議決定したのか。(総理)
6. 日本を戦争させない国、煽らない国、巻き込まれない国にすべきと考えるが如何。(総理)

### 【北朝鮮問題】

7. 米国の軍事行動を支持するのか。(総理)
8. アメリカが自国民への被害を省みずに「日本のために」報復するという意思をトランプ大統領に確認したのか。(総理)
9. 北朝鮮はアメリカの報復が確実であるならば冒険主義に走らないという根拠を問う。(総理)
10. トランプ大統領が、日本の頭越しに中国や北朝鮮と妥協し、ICBM 開発の中断を条件に既存の中距離核を黙認するディールの可能性は全くないのか。(総理)
11. 在韓邦人救出をいかにして行うのか。(総理)
12. 人道目的で韓国の港に入る自衛艦に限り国連旗の掲揚を認めるような対策も一案ではないか。(総理)
13. 六者協議でサンフランシスコ講和条約に関わっていなかった国との信頼醸成外交を進めるべきではないか？(総理)

### 【和解による平和創造外交】

14. 平和創造外交こそ日本の柱にすべきと考えるが如何。(外相)

### 【沖縄県における米軍機事故と日米地位協定】

15. 米軍の航空機の点検、整備状況を米軍任せではなく、日本政府として関与する体制を確立すべきではないか。(防衛相)

16. ヘリコプターの小学校上空通過について、安倍総理自らがトランプ大統領に解決策を申し入れるべきではないか。(総理)

17. 憲法改正よりも日米地位協定の改定をまず実現すべきではないか。(総理)

**【普天間飛行場の移設問題】**

18. 普天間飛行場の返還を実現するために、政府はまず、緊急時における長い滑走路を用いた活動ができる飛行場の決定と整備を最優先で進めるべきではないか。(防衛相)

**【中国の一带一路構想とアジアインフラ投資銀行 (AIIB)】**

19. AIIB への加盟を検討すべきではないか。(総理)

**【アベノミクスの失敗】**

20. 第二次安倍内閣発足以来、消費や収入等が減少したことを示す各種データ・事実の受け止め。(総理)

21. 株価上昇が官製相場によるものである実態について。(総理)

22. 公的資金投入をやめると株価暴落の危険はないか。(総理)

23. デフレ脱却に失敗し、実体のないアベノミクスの失敗を認めるべきではないか。(総理)

**【社会保障支援】**

24. 医療、介護分野における雇用誘発係数と出生率の高さの関係について。(厚労相)

25. 地方の医療・福祉施設や従事者に対する支援をどのように拡大していくか。(総理)

**【財政破綻の可能性】**

26. 消費税を巡る失政や政治的思惑により財政悪化を見過ごす総理の姿勢が、財政破綻の道につながるのではないか。(総理)

27. 金融緩和を止めると長期金利が上昇し、国の債務返済がますます困難になることについての認識について。(財務相)

28. 金融緩和を継続することにより、円が暴落することの認識について。(財務相)

**【安倍政治の本質】**

29. 杉原千畝・元外交官の処遇に関する事実関係について。(外相)

30. アメリカ・ワシントンのホロコースト記念博物館「ファシズムの14の初期警報」における、「団結のための敵／スケープゴートづくり」「マスメディアの統制」「犯罪取り締まりと刑罰への執着」「労働者の力の抑圧もしくは排除」と、安倍政治との類似性についての見解如何。(総理)

31. 同「不正な選挙」と昨年解散についての見解如何。(総理)

32. 同「軍隊の優位性／強力な国家主義」と安保法制についての見解如何。(総

理)

**【森友学園問題】**

3 3. 関係者の処分や国会招致も含め、疑惑の解明に対する総理の見解について。

(総理)